

都立小児総合病院にファシリティドッグ 和泉都議の要求が実現

和泉都議が繰り返し求めてきたファシリティドッグの導入が、いよいよ実現します。都立小児総合病院に8月1日付で導入すると、知事が定例記者会見で発表しました。

和泉なおみ都議は、2013年に、神奈川県立子ども医療センターのファシリティドッグ、ベイリーの働く様子を視察しています。

「小さな子どもたちに、大人がなかなか伝えきれない言葉の壁を、たった一頭の犬がこともなげに超えてしまう現実を見ていただきたい」「もしベイリーがいなかったら、この子達はどうかやってつらい病気と闘っていただろう。こんな笑顔が見られたらどうか」と、都立小児総合病院にファシリティドッグの導入を求めてきました。(本紙35号に掲載)

難病と闘う子どもや親たちに、癒しと、治療に向き合う勇気を、と願う和泉都議の要求が、またひとつ実現しました。



NPO シャインオンキッズのHPより

※ファシリティドッグは：
入院中の患者や、家族の不安を和らげ、心理的なサポートをするなど子どもたちの治療に寄り添うことを目的に育成された犬たちのことです。

差押への『ぶっぽび』をやめさせました

和泉なおみ都議は、国民健康保険の滞納世帯に対して、差押をすればするほど、その件数に応じて交付金を出していた都

に対して支給する部分と資格証明書の交付割合に応じた部分を交付基準から削除したことを明らかにしました。

の姿勢を、繰り返し追及し、やめるよう求めてきました。

和泉なおみ都議の論戦と、運動の成果です。

そしてついに、平成30年度から、差押

訂正とお詫び

07月付41号の左上10行目の「当時の葛飾は」ではじまる記事は、「当時の葛飾は、農村地帯でしたから、明治政府が『帝都防衛のため』と判断したと推測されますが、許されることではありません。」に訂正し、お詫びいたします。

毎度おなじみ？

和泉なおみ

参議院選挙では、葛飾とともに、統一地方選挙に続き墨田を担当しました。いまだに演説に苦手意識はぬぐいきれません。

それでも、葛飾でも墨田でも、多くの方が真剣に話を聞いてくれ、ときに通りがかりの方が足を止めてくれたりすると、とても励みになります。今回の選挙では、年金問題が大きな争点となり、社会保険労務士として、年金制度への積年の怒りを演説に込めて訴えました。

それが伝わったのか、聞いてくれる方たちの反応も良く、少し自信がついたかな？ 墨田の皆さんも「毎度おなじみの和泉さん」と歓迎してくれました。

墨田もやはり下町。川の手の人々。やっぱり好きだなあ。

日本共産党都議会議員

和泉なおみの
さわやかレポート

NO.42
2019.08

発行：和泉なおみ事務所 TEL5671-0850
葛飾区東立石 3-25-8 FAX 5671-0851

水元公園の噴水、いよいよ復活

11月に完成予定

暑いあつい夏がはじまりました。い 工事が開始され、11月頃に工事が完了
ま水元公園では、入り口広場の噴水の します。
改修工事が行われています。 今年の夏に間にあわないのは、少し
和泉なおみ都議が、皆さんといっしょ 残念ですが、長年の要望が、またひと
に運動し、求めたもので、春から改修 つ実現します。

何年も止まったままの噴水

水元公園にある噴水は、何年も止 上げ、子どもを水遊びさせる姿が、こ
まったまま、中には土が入られ、植 の公園の夏の風物詩となっていました。
栽のようになっていました。かつて噴 地元の方たちからは、「入ってすぐ正
水だったときには、中央の噴水を囲む 面にある噴水は、水元公園の象徴。再
ように配置された蛙やカタツムリが、 開してほしい」と、要望が寄せられて
かわいくユーモラスに口から水を噴き いました。

何度も都と掛け合って

和泉都議は、議員になる前から水元 の復活を求める文書質問を行いました。
公園の問題を都に対して、要求してき これに対し、都がようやく噴水再開の
ました。 ための改修工事を行うと、回答したも
ののです。

昨年9月の定例会では、水元公園の 工事予算は8000万円で、その範
菖蒲田の管理の改善と合わせて、噴水



工事が進められている水元公園の噴水広場

囲は入り口の広場のほぼ全域に及びま
す。

青砥橋・堀切橋・飯塚橋に エレベーターの設置を

川に囲まれてくらす葛飾区民にとって、橋を上り下
りする移動は、大変です。

和泉都議は、環状7号線の青砥橋や堀切橋、飯塚橋
にエレベーターの設置を求めて本会議文書質問を行いました。

バリアフリーには程遠い青砥橋

中川を渡る青砥橋は、長さ 640 メートル。50段
以上の階段を上り下りしなくてはなりません。自転
車で渡る場合でも、150mものスロープを上って、
やっと橋にたどり着きます。車いすの方は、もっと
大変です。

高砂1丁目の方たちにとっては、この橋を渡らな
ければ最寄り駅の青砥駅に行くことも、毎日の買い
物もできません。

また堀切橋では、車いす用のスロープさえありま
せん。

引き続き運動を

これに対し都は、「道路のバリアフリー化を一層進
めていくことは重要」としながらも、橋へのエレベ
ーター設置は解決すべき課題が多いと、消極的です。

いっぽう口頭で、エレベーター設置に向けた優先配
備の基準を、1、2年で検討していくとも、答えてい
ます。引き続き運動をすすめます。

